

本冊子の活用方法

海と共に歩み発展してきた今治市で、子どもたちにもっと海との関わりを持っていただき、海と人との関係を深いものにしていくためのマッチング教材です。こんなイベントをしたい、こんな授業をしたい、海で体験してもらいたいなど、各団体のスキルや技術を学べるように、団体と団体、単体と団体を繋げていける教材として活用していただけたら幸いです。



未来を繋げる
これからの海と人との関係

この関係 海と人 これからの

特定非営利活動法人 今治シビックプライドセンター
Tel 080-3168-7681 Fax 0898-34-5696
mail icpc@major.ocn.ne.jp



HP



Facebook





ICPC
IMABARI CIVIC PRIDE CENTER

代表理事
友田 康貴

これからの時代、どのように変わっていくのか
自分で考え、そして選択し行動する力が求められています
今ある枠を超え、未来はどのようになっていくのか
これからの海と人との関係はどのようになっていくのか
地域の未来像を語る時、しばしばその終着点は人の問題になります
地域にある様々な課題の解決にあたるのは結局『人』です
どんな人材が、どれほどの人数が、関わるかということが、課題のありように直結してくるので
今治は「海」と共に歩み、発展してきました
村上海賊という歴史、瀬戸内海国立公園・来島海峡等の自然環境、海事産業が集積する海事都市、世界的に見てもこれだけ
恵まれた「海」の環境が集約された地域はありません
これら恵まれた環境をあたりまえとして捉えていないでしょうか
「海」には多くの課題があり、変わるべき時を迎えています
『他人発から自分発』『他人事から自分事』に変えられるよう、まず知ることから初めませんか
学校ではない先生はいっぱいいます
ある人は言いました「京都の人は何をすれば京都という街が残っていくかを知っている」
今治という地域が残っていくため「海」という素晴らしい環境を再確認してみませんか
今治市が誇る「海」という歴史・環境・産業を後世に引き継ぐには、皆さんが枠を超え、共通認識をつくりあげる必要
があります
1人より2人、2人より3人、10人より100人、100人より1000人がつながることで違う未来が見えてきます



私は今治の波止浜で生まれ育ちました。
波止浜の湾に面した海岸通です。
うちはパチンコ屋でその2階に住んでいましたから窓の向こうはずらっと造船所が並んでいてその向こうに糸山。
手前は白い布の屋根を張った小さな伝馬船が並び、その先に来島、小島、馬島に行くポンポン船の船着場。
船の油のにおいと潮の香り、伝馬船のエンジンの音と造船所の鉄をたたく槌の音。
狭い海岸道を行き交う瀬戸内バス。
威勢のいい男たちの声や手押し車をひいて魚を売りにくるお婆さんの「魚いらんかえ〜」の声。
糸山と空の間でクルッと回る黄緑色に塗られた大きなクレーン。
キュッキュッと鳴るつっかけを履いてカタカタ車を押す小さな子。
冬の早朝の海から立ち昇る白い湯気。
ポンポン船に乗って海水浴に行く人たちの楽しげな声。
そして2階にいる私の耳に聞こえる下の店で鳴り続くパチンコ玉の音、軍艦マーチ、ドーナツ盤から一日中鳴り響く演歌の歌声。夜の9時には蛍の光で閉店。静寂。静かな海。今でもありありと思い出される私の原風景です。
大人になって私は絵を描くようになりましたが、人間でも動物でも車でも船でも飛行機でも、なんでも私が描くものは向かって左に進んで行き、横顔であっても左を向いているのです。右に進んだり向いたりするととても違和感を感じて、なぜか落ち着かないのです。
ある時ふと気づきました。
パチンコ屋の2階から飽きもせず見ていた造船所。毎日少しずつ船が出来ていき、完成を迎えると進水式。
くす玉が割れ、色とりどりの紙テープをはためかせながら大きな鉄の船は湾から外の海に出て行く。
それは必ず私から見て左に出ていくのでした。右は水門ですからね。
子供の頃の本当に古い記憶。まだ何もたまっていない記憶の貯金箱。そこに入っていた晴々とした感動の記憶。
それが長い時間自分の感覚の根本を支配していたのか、と驚嘆しました。
私にとって進んでいくものはみんな左に向かって行き、そこにはここではないどこかへ行くものへの憧れがあったのでした。



MAYAMAXX



これからの海と人との関係する団体を4つのカテゴリーに分類
団体を採られる際に、目安になるジャンルを表記しております。



文化 culture

歴史・環境・産業に支えられ、海を活用する活動が増えてい
ます「楽しむ」「学ぶ」「食す」海を介在として様々なものが発
展してきました。ここでは歴史・環境・産業に当てはまらない
ものを文化として示していますが、海に関わる団体が増えてい
けば、もっともっと細分化していきます。

海は広く、私たちの生活と複雑に絡み合う巨大な資源です。そ
して私たちが地球に住み続ける限り、海から離れることはない
でしょう。だからこそ、もう一度多角的に海を眺め、次世代へ
と引き継ぐための新しい試みを考えなければいけない時がきて
います。

2015年9月、国連サミット内で採択された持続可能な開発目
標（SDGs）の中で「海の豊かさを守る」という目標が掲げら
れ、海と人との共生が世界の課題として捉えられるようになり
ました。海の豊かさを知っている私たちは具体的な行動をとれ
るはずです。



歴史 history

今治で海の歴史というと「村上水軍」が思い浮かぶでしょうか。
2020年4月 村上水軍博物館から村上海賊ミュージアムに名称
変更されました。『水軍』は近代海軍の前身の意味合いが強く、村
上氏に対しては江戸時代に使われ始めました。

村上氏は、戦時を強調した「水軍」という言葉では表現しきれない
さまざまな顔を持っていました。平時には、通行料や警固料の対
価として、瀬戸内海を行き交う船の安全を保障する水先案内人。
島々を物流の基地として、国内外を産地とする高級な陶磁器など
の流通に携わる商人の顔。名だたる大名たちも顔負けの優雅さ
で、香や茶や連歌をたしなむ文化人の顔。そして、瀬戸内海で獲れ
る新鮮な魚介類を扱う漁業者でもありました。

戦国時代、『日本史』を記した宣教師ルイス・フロイスに「日本最大の
海賊」と言わしめた村上海賊が今治に生きる私たちの歴史です。
「日本最大の海賊」の本拠地：芸予諸島～よみがえる村上海賊
『Murakami KAIZOKU』の記憶～は日本遺産に認定されています。
時代によりさまざまな姿を見せる海の民たち。この人たちの血は
脈々と受け継がれているはずです。



産業 industry

今治に住む私たちは古くから、魚介類等の海の恵みを利用する
ことで豊かな暮らしを実現してきました。技術が進歩するにつ
れて、海を利用する形は、水産資源の利用から海上輸送や埋め
立て等へと広がっていき、そのスケールも大きくなってきまし
た。

平安時代、瀬戸内の島々では塩づくりが盛んに行われていまし
た。現在でも大三島には製塩工場があり、今治の産物として国
内に知られています。この頃、島々でつくられた塩を各地へ運
ぶため、海運が発達しました。来島海峡の潮待ちや塩を求めて
多くの船が入港し「伊予の小長崎」と呼ばれる有名な港町になっ
ていきました。交易が盛んになると、船の修理や建造が必要になっ
ていき現在の造船所や海運会社が集まる海事都市へと発展してい
きました。



環境 environment

私たちの見慣れている瀬戸内の風景。この風景は日本で一番古い
国立公園の風景なのです。

瀬戸内海国立公園は、昭和9(1934)年に雲仙、霧島とともに日本
で最初に国立公園に指定されました。その範囲は1府10県にまた
がり、大小の島々で構成された多島美観があり、国内で最も広
い国立公園です。

瀬戸内海一帯は早くから文化が栄え、人と自然とが共存してきた
地域であり、島々の段々畑や潮待ちの港町など、自然と暮らしが
一体となった親しみやすい景観であることが大きな特長です。
海峡や複雑な海底地形、潮の干満差によって潮流の速い海域があ
り、二つの潮流体験があります。

唐子浜など花崗岩が風化されてできた白砂と主に防風、防砂のため
に植えられた松林が美しい「白砂青松」の海岸も誇れる景観です。
「亀老山山頂から望む来島海峡」は四国八十八景に選定され「旅好
きが選ぶ！日本の展望スポット」で高い評価を得ています。
海と島の独特の陰影で、作り出される風景は、完成された絵のよう
で、私たちは、美しい風景画の中で生きているようなものなのです。



特定非営利活動法人今治シビックプライドセンターは新しくなった港
「はーぱりー」に賑わいを創る活動を平成20年から行っています。平成
28年にははーぱりーが完成し、港が新しくなったことを知ってもらうため、
はーぱりーマーケット等のイベントを開催してきました。
港に賑わいを創る活動と共に、今治市に誇りをもってもらい、街を好き
になってもらう活動もしてまいりました。今治にはいろいろな誇りになる
材料がある中、私たちは「海」に着目し海を誇りに、そして好きになっ
てもらうためにはどうすればいいかを考えてきました。

人材育成事業・活動

「海」には様々な側面があり、今治にはいろいろな財産(環境・歴史・産業・文化)があり
ます。子どもさんらに「海」に興味を持っていただくためフェリーで遠足・ミナトデハタラク
・今治海kids倶楽部というイベントを行っています。
「子どもさん×海」「先生×いろいろな団体」「いろいろな団体×いろいろな団体」という海
に関する関係性が広がる活動を行っています。
その関係性の向上が今治の「海」に関する誇りに繋がります。

活動日程

はーぱりーマーケット 体験を軸としたマーケット(不定期)
今治海kids倶楽部(夏)

特定非営利活動法人 今治シビックプライドセンター

〒794-0043 愛媛県今治市南宝来町1丁目5番地23
TEL 080-3168-7681 E-mail icpc@major.ocn.ne.jp
HP <http://www.icpc-imabari.jp/>
Facebook <https://www.facebook.com/Minatosaiseiproject>





HP



Twitter



村上海賊ミュージアムは、能島村上家の末裔に伝わる古文書・美術工芸品や、海賊たちの活動拠点の一つであった能島城跡(国指定史跡)から発見された品々を多く収蔵・展示し、これらに関する調査研究を進めています。また、村上海賊をはじめとした瀬戸内海の歴史や文化に関する講座講師や出前授業等の普及啓発・学習支援活動なども行っています。

人材育成事業・活動

小学生・中学生向けの学習プログラムを作成し、展示見学の際に活用しています。また「夏休み宿題応援セット」などを配布し、自由研究などの相談に応じています。さらに日本遺産「村上海賊」の魅力発信推進事業と連携し、「村上海賊わくわく大冒険」など村上海賊の歴史遺産をめぐる親子イベントや、市内の小学校で出前授業の講師などを行っています。

今治市村上海賊ミュージアム

〒794-2203 愛媛県今治市宮窪町宮窪1285番地
TEL 0897-74-1065 FAX 0897-74-1085
HP <https://www.city.imabari.ehime.jp/museum/suigun/>
SNS https://twitter.com/jh_KAIZOKU

※文化振興課のアカウントですが、村上海賊ミュージアムの情報も発信



来島保存顕彰会 会長
村瀬 牧男

戦国時代の城の形が解るように尽力されたのはこの方。保存顕彰会発足当時の来島は荒れ放題であり「当時の活動は保存顕彰活動でなく、清掃活動です」と楽しくお話しいただきました。現在は休会していますが、20年あまりの活動は色濃いものであり、村瀬さんの言葉は後世に引き継ぐべき大いなる遺産です。

来島は周囲850メートルの小さな島ですが、島全体が本丸、二の丸、三の丸、出丸で構成された能島城とならんで村上海賊の代表的な海城です。浜辺の岩礁には無数のピット（柱穴）跡が残っています。島には神社仏閣の類が7つもありますが、お墓はありません。来島の大将達は平時は波方に住み戦になると来島に立て籠もり攻めるのに難しい砦となっていました。

平成11年来島保存顕彰会は発足し、20年活動し現在は休会しています。

発足当時は顕彰事業というより、整備事業が主でした。今のように本丸の所まで上がる道は整備されていなく荒れ放題の状態でした。行政に何度もお願いには行ったが、なかなか前に進まず、自分たちで整備し今の形になりました。来島を来島大橋から見ると本丸、二の丸の形はわかると思います。

やはり私たち今治の人間には来島水軍のDNAが流れている。海と共に生きてきた末裔として保存顕彰会は多くの方がエールを送ってくれました。

また、慶長の役（1597年）で日本の水軍を率いて戦い、戦死した村上通総（みちふさ）の部下の兵士たちの遺体を珍島の地に葬ってくれ、そのお墓をずっと守ってくれていた韓国の方との文化交流は保存顕彰会の大きな財産です。

いろいろな国の考えはありますが、この交流というのも後世の方に引き継いでもらいたいものです。

来島保存顕彰会 〒799-2110 愛媛県今治市波方町郷甲1394番地3(村瀬海運内)
TEL 0898-41-9149(村瀬海運内)





財務省・税関では、「安全・安心な社会の実現」、「適正かつ公平な関税等の賦課徴収」、「貿易円滑化の推進」という3つの使命を果たすべく、輸出入貨物の通関、関税等の徴収、麻薬や覚醒剤などの不正薬物や拳銃などの密輸の取締りなど、秩序ある貿易の発展に努めています。

人材育成事業・活動

出前授業の実施(出前授業の詳細は体験欄参照)
小学校や中学校を訪問し、出前授業を実施

今治市内のイベントへの参加
今治市内の海に関連するイベントに参加し、税関の仕事体験

体験内容

出前授業の概要

- ・時間: 1時間程度
- ・場所: 教室・体育館等(DVD等の視聴が可能なスペース)
- ・内容: 税関の役割についてのDVD視聴(10分程度)・模造麻薬の鑑賞
税関の役割、不正薬物の恐ろしさ等に関する講義・取締機器の使用体験等

※上記の概要については一例であり、時間内容等については、対象学年、人数等によりご相談を承ります。また、学校以外への出前授業のご要望についてもご相談を承ります。

財務省 神戸税関今治税関支署

〒794-0032 愛媛県今治市天保山町1-3 TEL 0898-23-0031



HP



Twitter



Facebook



YouTube

海上交通センターとは、東京湾や瀬戸内海など船舶がふくそうする海域で海上交通の安全を確保するために設置された海上保安庁の組織です。来島海峡には、潮の流れる向きによって航路が入れ替わる「順中逆西」という世界唯一の特殊な航法が適用されています。当センターでは、レーダー等で船舶の動静を監視しながら、必要な情報を提供するとともに、航法に関する指示、航法に従わない船舶への指導などを実施しています。



「日本最大の海事都市今治」に立地する海運・造船・船用企業と今治市の産官連携で「次世代の海事人材育成」を推進するため、定期的に海事啓発事業を実施しています。また、2年に1度今治市で開催される西日本最大の国際海事展「バリシップ」に特別後援し、海事都市今治の発信を行っています。

人材育成事業・活動

「バリシップ」開催時には、毎回、市内の小中学生や高校生等を対象としたバリシップ見学会を実施するとともに、一般向けの海事啓発イベントを行っています。そのほか、定期的に船舶寄港事業などの体験イベントを行ったり、YouTube内に「バリシップチャンネル」を立ち上げ、クイズ動画など、海事産業について楽しく学ぶことができるコンテンツを配信しています。

活動日程

定期的に以下の市民参加型の海事啓発事業を行っています。
・バリシップ併催イベント(奇数年) ・バリシッププレイベント(偶数年)



HP



Facebook



YouTube

今治市海事都市交流委員会

〒794-0840 愛媛県今治市別宮町1丁目4-1 今治市商工振興課海事都市推進室内
TEL 0898-36-1540 E-mail kajiji@imabari-city.jp



人材育成事業・活動

①施設見学

教育機関や企業等からの依頼に応じて施設見学を受入れ中です。業務説明や所内見学により、当センターの業務理解を深めていただけます。

②出張授業

教育機関からの依頼に応じて職員が学校に赴き、業務を通じて自分達の暮らしと海の安全・安心の関わりを学べる取組みを行っています。

③職場体験学習

愛媛県が実施する「えひめジョブチャレンジU-15」を受入れ中です。中学生に当センターの業務を体験していただけます。

体験内容

「来島海峡海上交通センター 出張授業」…海上保安庁職員が学校に赴き、業務の紹介や業務に関するクイズ大会などを実施。

来島海峡海上交通センター

〒794-0003 愛媛県今治市湊町2-5-100

TEL 0898-31-4992

https://www6.kaiho.mlit.go.jp/kurushima/
(来島海峡海上交通センター)



HP





私ども漁業者並びに漁業協同組合の大切な使命は、国民に安心で安全な水産物を安定的に供給することにあります。そのためには若い担い手を確保し、経営能力を向上させるために育成していかなければなりません。また、海の豊かな環境を保全し、秩序をもって恒久的に持続させていく責任を持って日々活動しています。

人材育成事業・活動

出前授業：県漁協青年部が中心となって、若手漁業者が学校に行き、授業を行っています。実際の漁師の仕事内容や、自分たちが食べている魚がどのように獲られているのかを知ることができるいい機会になればと思っています。

愛媛県漁業協同組合 今治支所

〒794-0013 愛媛県今治市片原町4丁目甲1302-4
TEL 0898-23-3333 FAX 0898-25-0920



今治市港湾振興協会は、今治市港湾の振興発展を図ることを目的として昭和44年に設立され、現在136の企業・団体により構成されています。港が広く親しまれる場所となるよう、イベントを開催したり環境美化活動の支援を行っています。また、今治港のコンテナ航路を利用してもらうための活動や、クルーズ客船の誘致などのポートセールスにも取り組んでいます。

人材育成事業・活動

① 海事関連施設親子見学会(小学3年生～中学生)

「港」の役割や造船と海運のつながりを身近に感じてもらうことを目的として、市内の港湾施設や造船所等の海事関連施設において親子見学会を開催しています。

② 帆船「みらいへ」寄港イベント(小学生・中学生)

帆船「みらいへ」が今治港に寄港した際、体験航海や各種プログラムにより、楽しみながら帆船の魅力に触れる機会を提供しています。
※主催：(一社)グローバル人材育成推進機構

今治市港湾振興協会

〒794-0013 愛媛県今治市片原町1-100-3
みなと交流センター3階(今治市港湾課内)
TEL 0898-22-4120 FAX 0898-22-4121
E-mail:kouwanka@imabari-city.jp



HP



人材育成事業・活動

本社みらい工場のデザインコンセプトは未来の船です。小中学生の頃から興味をもってもらえるような会社でありたいといった思いより、学校関係者からの工場見学や職場体験の依頼は全て受入れています。
(日程により受け入れ困難な場合がありますので、事前にご相談ください)

1946年に漁船向けバッテリー(蓄電池)の販売充電業として創業以来、船舶の総合電機メーカーとして船舶における配電盤・制御盤・監視盤などのパネル製品の製造及び電装工事を手掛けています。75年の歴史のある海洋プラント事業を中心に産業プラント事業・EV事業を三本柱として事業を展開しています。

BEMAC株式会社

〒794-0013 愛媛県今治市野間甲105番地 TEL 0898-25-8282



HP



鉄鋼や紙の原料、小麦粉などの穀物類を運ぶ「貨物船(かもつせん)」、トラックや車ごと運ぶ「RO(ろー)/(/)RO(ろー)船(せん)」・液体(えきたい)化学(かがく)製品(せいひん)を運ぶ「ケミカルタンカー」・天然ガスを-163℃まで冷やして液体(えきたい)状態(じょうたい)で運ぶ「LNG(えるえぬじー)船」などを建造しています。船は運ぶもので形を変えて建造するためたくさんの種類があります。1(1)隻(せき)1(1)隻(せき)お客様と話し合い、お客様が必要とする船と「時代に必要のない船を建造」を目指しています。

人材育成事業・活動

地域の小学生向けに進水見学会・工場見学会を開催しています。



檜垣造船株式会社

〒794-0013 愛媛県今治市小浦町1丁目4番25号
TEL 0898-41-9147



HP



建造量日本一！ 創業は1901年で120年以上の歴史がありますが、それに囚われることなく常に未来を見据えた船造りに取り組んでいます。「Made in Japan, Made in 瀬戸内」をモットーとし瀬戸内海沿岸にある6か所のグループ会社を含め全10工場で次世代に向けた造船の可能性に挑戦しています。

人材育成事業・活動

今治市で2年に1回開催される「バリシップ」にブースを出展し、船や技術の紹介をしています。また一般公開日には工場を開放し、模擬式典体験や工場建屋の天井クレーンを使ったUFOキャッチャー、高所作業車の乗車体験、波止浜湾クルージングなど造船所ならではのアトラクションを多数用意して普段入る事が出来ない造船所を思いっきり楽しんでもらっています。

今治造船株式会社



〒799-2195 愛媛県今治市小浦町1丁目4-52
TEL 0898-36-5000 HP <https://www.imazo.co.jp/>



HP



今治市のFMコミュニティ放送局 (FMラヂオバリバリ) のボランティアメンバーで構成された団体です。海洋や生態系に詳しい専門家や海の仕事に携わる漁師や行政職員も含め、様々な視点から地元で海洋ゴミ、海の環境を考える機会をつくっていきたくと思っています。

合言葉は「【SEA】See Enjoy and Act」。見て、知って、楽しみながら行動し、地元の海を好きになる。そんな循環を生み出す活動を目指しています。

人材育成事業・活動

夏は大西の鴨池海岸を中心に海岸の生き物観察を行っています。スナガニ、ヒトハリザトウムシ・おなじみの生き物や見たことのないような生き物も子どもたちとともに探していきます。 秋には離島ビーチクリーンとして、鶴島や津島などで島の方々と一緒にビーチクリーンや島散策を楽しんでいます。 また朝市の見学やマイクロプラスチックの調査、海洋ごみの講座なども行い、海を楽しむ、海を考える活動を行っています。

体験活動

海洋ゴミ問題、海の生き物観察など

活動日程

夏：昼の生き物観察・夜の生き物観察
秋：離島ビーチクリーン
年間通じてマイクロプラスチックの地元海岸でのデータ調査



HP

ビーチクリーンしまなみ



〒794-0013 愛媛県今治市片原町1-100-3 はーぱりー2F (FMラヂオバリバリ内)
TEL 0898-33-0790 (FMラヂオバリバリ内 ビーチクリーンしまなみ事務局)
HP <https://beachclean789shima.wixsite.com/mysite>
facebook <https://www.facebook.com/beachcleanshimanami>



Facebook



人材育成事業・活動

今治市内の小中学校からのご要望に応じて、大西工場の見学対応 (年平均10校程度) や、波止浜工場での進水式見学会へ地元保育園・小学校をご招待 (今治商工会議所様経由) などの不定期対応や、毎年秋頃「新来島感謝祭」という、来場頂いた皆様当社建造船・建造工場を見学できる地域の皆さんへの感謝イベントを実施しています。また2年に1度開催される「バリシップ」でも、来場していただいた皆様へ、当社の最新の建造船などの紹介しています。

活動日程

秋：新来島感謝祭



HP



波止浜湾内にて創業し100年以上の間、地元今治で船造りを続けています。今治市内に2工場 (大西、波止浜)、その他県外にも沢山の工場があります。当社の経営理念である、「社会に貢献する企業となる」を胸に、全社一丸で環境に優しく高性能な船舶の建造に邁進しています！

株式会社新来島どっく



〒799-2203 愛媛県今治市大西町新町甲945番地
総務部 TEL 0898-36-5511 HP <http://www.skdy.co.jp/>



今治市をゴミの少ない町にしたいと考えて、2015年4月設立現在の会員数は31名。月に1度、河川と海岸の数か所のゴミ拾いをしています。



活動日程

ゴミ拾い活動は、第一日曜日か第二日曜日、8時～9時までとしています。
ゴミ拾い後は、サンドイッチと飲み物で朝食懇親会を行っています。

今治を美しくする会



〒794-0033 愛媛県今治市東門町5-2-5(平林元樹宅)
今治を美しくする会 事務局
TEL 0898-31-0485 E-mail:Free201002@yahoo.co.jp

人材育成事業・活動

子供会との地引き網など 織田が浜の清掃

活動日程

毎月第四日曜日



「自分達の住んでいる地域を自分達で良くしていこう」と思いのもと織田が浜を中心に活動する市民団体です。昭和42年より活動をしています。愛媛県レッドデータブックで絶滅危惧1A類に指定されている海岸の砂地に生えるウンランの保全等にも努めています。

頓田会



〒799-1506 愛媛県今治市東村3-2-34

今までの人生のどこかで一度は接した事のある海、東日本大震災をきっかけに地元海を見てみると。凄いゴミ。美しいと信じて止まなかった海が凄く汚いんです。こんな所で趣味活動してたんだと反省を込めて海岸清掃開始。年に4回のゆるーい海岸清掃ですが、長く続ける事が大事。繋ごう次世代へ豊かな海を！

人材育成事業・活動

今の若い子達は海で遊んでいますか？僕達はゲームなどもそんなに無かった時代、良く海で遊んでいました。海は広いからゴミを捨てても大丈夫？いえ。海に住む生き物達は迷惑していると思います。あなた達の部屋やおウチにゴミを投げ捨てられたら気持ち良いですか？だから僕達は海岸を次の世代に繋ぐ活動をしています。あなた達も大人になった時、これを出し、友達と是非ゴミ拾いしてください。意外にスッキリ気持ち良くなりますよ！



しまなみボランティア団体豊魚会



しまなみ釣査団【しまなみボランティア団体豊魚会】 HP <https://ameblo.jp/mebaru5005/>



今治ローイングクラブは愛媛県今治市を拠点とするボートクラブです。小中学生から大人までボートを楽しんで漕いでいます。現在は玉川ダムを拠点として湖(フラットウォーター)で漕ぐ従来のローイングと、鴨池海岸を拠点として海(ワイルドウォーター)で漕ぐコースタルローイングの両方楽しんでます。

人材育成事業・活動

ローイングを通じ、海や河川に関する知識・マナーを高め、社会への寄与と安全航行・自然擁護の意識高揚に努めると共に、総じてオアズマンシップの向上を図るようしています。

活動日程

年に一度、鴨池海岸公園にて「Beach Rowing Sprint Games」というコースタルローイングのイベントを開催しています。普段は今治西高校ボート部と一緒にボートの練習をしています。

今治ローイングクラブ



〒794-2593 愛媛県今治市玉川町摺木甲186-1
代表 井手 勝敏 / 事務局 野尻 雅裕 (madamegina36@gmail.com)
facebook <https://www.facebook.com/imabari.rowing/>



Facebook



地域市民、行政、企業等の多様な担い手と連携し、地域の一人である子どもたちに学びの場、考える場を提供することを通して、問題意識や問題提起の機会、思考力や表現力の育成、問題の解決力と発展させ創造する力を養う経験活動を提供しています。それにより子どもたちが国際社会、地域社会の一員であることを自覚し、社会や地域に貢献する意欲を持ち、夢を持って生き生きと活躍できる社会の実現に寄与することを目指しています。

人材育成事業・活動

- (1) 持続可能な開発目標(SDGs)の理念に基づく実践活動
- (2) 地域活動の実践事例等を活かした人材育成活動
- (3) 仲間づくりや社会性を学ぶ教育方法の研究と啓発活動
- (4) 多様な学びを支援する情報収集と提供活動
- (5) その他目的を達成するために必要な事業

体験内容

『世界の海で船を動かす仕事』『草の役割ってなあに?』『ネパールにこんにちは!』『ミツバチのお仕事』『SDGsアクションカードゲームX(クロス)』、SDGs啓発授業、ソーラークッカーづくりなど

ばーりースクール TEL 080-4016-6973



HP



Facebook



「弓削商船高等専門学校」は商船学科、電子機械工学科、情報工学科の3つの学科があります。商船学科は、将来、船長や機関長になって、外国と貿易をする大きな船に乗ったり、客船で世界中の港を回ったりする「ものはこび」の技術を勉強します。電子機械工学科と情報工学科は、船で運んだ資源や材料を加工して、工業製品にしたりする「ものづくり」の技術を身につけます。

人材育成事業・活動

①体験航海「一日船長」(小中学生)

今治港から本校練習船「弓削丸」に乗船いただき、「海」や「船」に対する科学技術を体験していただけます。参加者には、「船長証明書」をお渡しします。

②パブリック

令和2年度はプレイベントとして、今治港において船内見学や体験航海を実施しました。令和元年度はフジグラン今治1階センターコートにおいて、学校の紹介、進路の相談などを行いました。

体験内容

- ・弓削丸体験乗船 ・カッター体験
- ・ロープワークなど海洋に関する内容
- ・海に関する内容
- ・ロボットプログラミングなど技術家庭に関する内容



HP



Facebook



instagram

弓削商船高等専門学校

〒794-2593 愛媛県越智郡上島町弓削下町1000
TEL 0897-77-4606 HP <https://www.yuge.ac.jp>



当クラブの目的は、健全な海洋スポーツと文化の発展と、ヨットを通じた友好親善に寄与することです。今治市民に海に親しむ機会を提供するだけでなく、国内外の今治港を訪れる、海と海洋スポーツを愛する仲間たちと共に楽しむための活動を行っております。

人材育成事業・活動

海やヨットの良さを実際に体感してもらえる様に瀬戸内海の各島々へ、セーリングやクルージングを行います。そこで普段経験しない感動や発見を通して、海やヨットの良さを理解し、将来海に携わる人材へのきっかけになればと思います。

よってこ今治

〒000-0000 愛媛県今治市阿方甲208番地1
TEL 0898-55-8891



「しまなみ野外学校」とは、海や川、森や里の文化を通じて、自然と人の暮らしの共生を体感することで、生きる力や地球環境／自然への関心の拡大を目的とした気づきの場です。

「しまなみ野外学校」では、五感を使って創造性を育み、自然界や文化の中でフィールドワークを行うことで、環境がおかれている現実を、実体験を通じて知り、より良い未来を築くために共に考える気づきの場を提供しています。

人材育成事業・活動

①しまなみキッズ

山、川、海、様々なフィールドで行う、日帰りorキャンププログラム。体験を通して生きる力を育み、次世代の子供たちの成長の場を作ります。対象：小学生

②島の冒険キャンプ7泊8日

無人島にわたり、シーカヤックを漕いで今治に戻ってくるプログラム。島での生活を通して、自分に向き合い、仲間と向き合い、さまざまな経験を積み重ね、自分の中に眠る無限の可能性を呼び覚まします。対象：小学4年生～中学2年生

体験内容

・しまなみキッズ 海の日帰りプログラム例
『目指せ僕らの島、筏でGO!』
筏を作り、無人島を目指すプログラム など



HP



Facebook



instagram

(株)今治. 夢スポーツ 「しまなみ野外学校」



〒794-0084 愛媛県今治市延喜甲604-1
TEL 090-2789-2029
HP <https://note.com/shimanami>



今治は、経済や文化など「港」を中心として発展してきた街です。「はーぱりー」が出来たことでミナトに新しい風が吹いています。音楽好きが「はーぱりー」を中心に、商店街で毎月路上ライブを行っています。「ミナト」から「まちなか」へ音楽が流れる街、ミナト街として、まちなかのぎわいの創出や、まちなかを訪れた人、ひいては観光客へ誘客を行ない、「いまばりの顔」として新しい「ミナトいまばり」をPRします。

人材育成事業・活動

音楽はどこで聞きますか？誰と聞きますか？
野外で、港で、友達と、親子でいるんな聞き方があります。
そして生演奏、ライブ、音を楽しむのが音楽。音に触れてみてください

活動日程

毎月、はーぱりー、商店街、約5か所にて、路上ライブを開催。
20組～30組が楽しくパフォーマンスしています。



ミナトいまばり音楽横丁



Facebook

HP <https://www.facebook.com/minatoimabariongakuyokochou>



「食を通じたモノづくり」をコンセプトに、ケータリングやお弁当を提供。食材は愛媛県今治市産を推奨。雑貨や器の個展や企画展、オーダーのシーンごとに合わせたものを、食を空間から作り楽しむことを大切にしている。食育やフードコーディネーター、レシピ開発などの依頼にも対応。

人材育成事業・活動

海キッズ食育講座 「海×OBENTO」2019年

海の食材をつかったOBENTO作り。中身の詰め方から、使うソース、外箱のかわいい包装まで、子供たちのスキを大切にしてお弁当作りの講座。

海キッズ食育講座 「海×お子様ランチ」2020年

お子様ランチやクリームソーダの起源から学び、当時使われていたお皿に盛り付けを楽しむ。クリームソーダは、ソーダの色から自分好みのものをつくる。「みんなと一緒に楽しく、自分のスキを一番に。」子供の個性を大切に。その他、絵本の内容に沿ったお弁当づくりなど。

活動日程

・さいさいきてやタオルフェアなどイベント出店 ・海キッズ講座

TORICO



HP

〒794-0084 愛媛県今治市延喜甲250-1 TEL 0898-34-3650 E-mail info@torico-co.com
HP torico-co.com Instagram, Facebook, twitter →@torico4592 Line →@158ahfgs
メール→ info@torico-co.com